

スポーツマネジメント研究紀要の創刊に当たって

久保 公人
KUBO, Kimito

尚美学園大学
学長

Shobi University

2020年12月

Dec.2020

スポーツマネジメント研究紀要の 創刊に当たって

久保 公人

尚美学園大学学長

2020年4月に尚美学園大学の第三の学部として設置されたスポーツマネジメント学部の研究紀要がいよいよ発刊の運びとなりました。尚美学園大学は、音楽をはじめとする「芸術」と「スポーツ」と「ビジネス」の三本柱で学部が構成された特色ある大学です。この三分野が密接な連携を図ることによって、他の大学では困難な様々な分野で活躍しうる人材を育成することができます。このことは研究分野においても同様です。

国民のスポーツに対する関心の高まりを受けて、国においてスポーツ基本法が制定され、スポーツ庁が設置され、スポーツの振興を図る動きが加速されています。その対象も、教育の一環としての「体育」から、身体的表現としての娯楽を含み、「する」「みる」「ささえる」という幅広い活動をも包含する「スポーツ」へと拡大し、スポーツ産業の育成やスポーツビジネスの創出など我が国における今後の課題である領域も「スポーツマネジメント」の中核的分野として位置づけられることになりました。研究組織としては2010年にはスポーツマネジメント学会も設立されています。しかしながら、研究の観点からは、教育学における「学校体育」が確固とした学問体系と経験の蓄積を有しているのに対し、学習者（スポーツをする、みる、ささえる人）の立場からの学問的蓄積はこれからの課題と言えます。それだけに、各方面から様々な研究者が集い立ち上がった尚美学園大学の新学部が、スポーツあるいはスポーツマネジメントの各分野において研究成果を蓄積し、我が国の研究をリードして行くことを大いに期待しています。また、オリンピックにおいてかつて芸術競技が種目であったようにスポーツと芸術（アート）は思想、方向性を一にすることがありますし、他方でスポーツとエンターテインメントとの結びつきもビジネスの観点から近年急速に深まってきています。さらに、囲碁、将棋、ブリッジなどに加えeスポーツも近年スポーツとして取り上げられつつあります。そういう点からみれば、スポーツ領域と芸術領域、総合政策領域とが連携することによって、幅広い分野における研究を発展させることが今後大いに期待されますが、これは尚美学園大学だからこそ成し遂げ得ることではないかと思えます。将来の人材養成に直接有用な実践的研究と様々な分野での基礎研究に関し、今後他に類を見ない独自の成果を上げられんことを心から祈念しています。